

[2018年9月18日]

ミャンマーで鉄道整備プロジェクトを受注

ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズ 1・CP102 工区

■鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤泰司）は、りんかい日産建設株式会社（本社：東京都港区、社長：山口竹彦）と共同企業体（JV）を構成し、ミャンマー連邦共和国（以下、ミャンマー）国鉄発注のヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズ 1・CP102（バゴー・ニャウレービン間）を受注しました。

■このプロジェクトは、国際協力機構（JICA）とミャンマーとの有償資金協力に基づき計画された日本国政府開発援助（ODA）事業で、ミャンマー最大の商業都市ヤンゴンと首都ネピドー、そして第2の商業都市のマンダレーを結ぶ重要路線である「ヤンゴン・マンダレー線」の鉄道整備事業です。

この路線は、旅客・貨物の需要が高まる一方で、既存施設や設備・車両の老朽化による影響で列車運行速度の低下・遅延や脱線事故などが生じ、輸送サービスの向上が課題となっています。

当JVは、老朽化した施設・設備の改修を通じて、鉄道輸送サービスの安全性と運行速度を向上させ、輸送コストの減少と旅客・貨物輸送量の増加を図り、ミャンマー経済の発展と国民生活の質の向上に貢献していきます。

■2018年9月6日に首都ネピドーにて契約調印式が行われました。調印式には、在ミャンマー日本大使館の田公和幸参事官および笠井良真書記官、JICAの西形康太郎次長、運輸・通信省のThant Sin Maung大臣、ミャンマー国鉄のThurein Win総裁およびBa Myint氏、オリエンタルコンサルタンツグローバルのNarentorn Yingyongrattanakul氏、当JVから山本青史 鉄建建設ミャンマー事務所長、黒川豊 りんかい日産建設ミャンマー営業所長など関係者43名が出席しました。

■ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズ 1・102 工区工事概要

工事名称：ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズ 1・CP102（バゴー・ニャウレービン間）

発注者：ミャンマー国鉄

設計監理：オリエンタルコンサルタンツグローバル

工期：48カ月（着工は10月以降を予定）

工事内容：バゴー～ニャウレービン間 約80kmにおける鉄道整備事業

【土木工事】路盤工事一式、橋梁工事、軌道工事、その他土木工事

【建築工事】駅舎建築・施設工

【通信工事】信号・通信・電力工

JV請負金額：187億（1USD＝110円換算、JV比率は未公表）

施工会社：鉄建建設・りんかい日産建設共同企業体

【位置図】別紙参照



整備前（現在の）ニャウレービン駅



整備前の踏切現状例



路盤・軌道の現状例

以上

お問い合わせ先

〒101-8366 東京都千代田区神田三崎町 2-5-3

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3221-2379

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部 高橋